



(ふくちゃん)

ながの労福協

〈ライフサポートセンター〉

一般社団法人 長野県労働者福祉協議会

〒380-8710

長野市立町978-2 労済会館内

TEL026-232-6667 FAX026-232-6672

E-mail n-rofuku@athena.ocn.ne.jp

http://www.lsc-nagano.or.jp

発行人 近藤 光

編集人 青木 正照

第269号2011年11月4日

今求められる、ふれあい・支え合いの支援

県労福協第19回労働者福祉学校開催

10月18日(火)長野市内のホテルにおいて「今求められる、ふれあい・支え合いの支援」をテーマに第19回労働者福祉学校を開催、関係団体、NPOなどから120名が参加しました。

県労福協奥原副理事長の開会挨拶に続き、近藤理事長が主催者を代表して「今年は大震災や台風など自然の厳しさ・恐ろしさを思い知らされ、その中で絆や地域の支え合いの大切さを感じさせられた。今までの生き方、価値観が変わり、日本人としてどう生きていくべきかが問われている。本日の労働者福祉学校をこのことについて考えるきっかけとしていただきたい」と挨拶を述べました。

人と人とのふれあい・支え合いの支援を進めるために

午前中は「ふれあい・支え合い」の支援取組について活動報告が行われ、まず県労福協が結成50周年を記念して作成した「福祉はひとつ」DVD(改定版)を放映し、現在取り組む生活あんしんネットワーク事業について青木専務理事より報告がされました。続いて連合長野根拠副事務局長より「東日本大震災連合救援ボランティア」について、自ら参加したボランティアの様子などを含め報告があり、時間とともに被災者のニーズが変わってくる中、息の長い支援が必要であることを訴えました。続いてコープ

ながの重労働理事より「組合員の参加とネットワークの推進」について、「困ったときはお互いさま」という組合員同士のサポート活動「まごころ」の取組みが報告されました。続いて労福協が長野県より受託したパーソナル・サポートモデル事業について美谷島センター長より報告がされ、行政の縦割りの制度では支援から漏れてしまうこと、一般就労に距離のある相談者への対応、緊急支援が必要な相談者等の課題も報告されました。最後にNPO法人ネットワークながの井出事務局長より、震度6の地震に襲われ被害を受けた栄村復興支援機構「結い」の取組み、また栄村・被災救援活動として、買い物支援、除雪応援等について労福協へ具体的な支援要請がありました。



内山節教授の基調講演

とすべてがダメになつてしまう社会に生きていくことを大震災を通して目の当たりにしたこと。これから大切なのは社会的使命を優先する「ソーシャル・ビジネス」という経済活動。そして、新しい時代に必要なのは、皆が等身大で結び合い、等身大の社会をつくることだと指摘されました。

コミュニティの再生に向けて

最後に内山教授と4名の報告者をパネラー、青木専務理事をコーディネーターとしてパネルディスカッションを開催、「ふれあい・支え合いの支援」により再生していかなければならない地域コミュニティについて、そして各団体のこれからの連携について、会場の参加者からも意見を聞く中で進められました。特に新潟県労福協山田専務理事からは「新潟中越地震発生の際、長野県労福協からすぐに温かいおにぎりが届き、被災者の皆さんは絶望の中で生きる活力を得た。」と報告があり、「ふれあい・支え合い」の重要性が訴えられました。



パネルディスカッションの様子

連合長野・県労組会議・県労連・労働金庫・全労済生協連・住宅生協・県勤労協・県高齢退職者連合

優しさをつなぐの労働運動を目指して...

連合長野 定期大会



新執行部を代表して挨拶する中山千弘新会長

連合長野は、10月28日、長野市で第23回定期大会を開催し、「2012・2013年度運動方針」などを決定しました。...

大会の冒頭、近藤会長の挨拶では、「被災地の人々が一日も早く普通の生活を取り戻すことこそが、不幸にも命を落とされた人たちの魂を鎮めることになる。...

その後、「2012・13年度運動方針(案)」を議論し、「復興・再生に全力を尽くし『働くことを軸とする安心社会』につなげよう」をスローガンに、組織拡大、ディーセントワークの実現、安心社会の構築などの2年間の方針を確認しました。...

退任の挨拶をする近藤光前会長



退任の挨拶をする近藤光前会長

放射能対策の強化を求める決議等を採用

県労組会議 定期総会



定期総会であいさつする高橋博久議長

長野県平和・人権・環境労働組合会議(県労組会議)は10月13日、長野市内で第16回定期総会を開きました。...

総会の冒頭、全員で東日本大震災で亡くなった方々への黙祷を捧げ、高橋博久議長が「放射能汚染のなかで生きていく私達が、脱原発の行動に立ち上がろう。...

原発から自然エネルギーへの転換を強調

長野県労連 定期大会

9月10日、高校教育会館で第三十三回定期大会が開催されました。「憲法をいかに、なくそう貧困と格差、変えよう!大企業とアメリカ力追従の社会・経済」というスローガンをめざす上で、被災者・国民本位の復興と「原発ゼロ」を求めるたたかいに、労働者の諸要求を実現するたたかいを、新しい政治を切り開くという観点から結合させ、労働者・国民が一体となつて発展させることが極めて重要になつており、...

同時に、誕生した野田政権のもとで、一気に悪政が加速される危険性を訴えるとともに、大阪の橋下知事による「教育基本条例」「職員基本条例」の提出は、この国の将来にとって看過できない事態であること



定期大会での高村議長のあいさつ

2011年度長野県勤労者体育大会「4種目」県大会結果

野 球 10/1(土)・2(日) オリンピックスタジアム 県営長野球場	優勝	T D K 労働組合 浅間支部	佐久地区
	準優勝	日本発条労働組合 伊那支部	上伊那地区
	三位	山洋電気労働組合 上田支部	上小地区
	三位	下諏訪町職員組合	諏訪地区
バレーボール 10/2(日) 東和田運動公園 総合体育館	男子の部	優勝	日信工業労働組合 上小地区
	準優勝	上田市職員労働組合 上小地区	
	三位	オルガン針労働組合 上小地区	
	三位	長野市職員労働組合 長野地区	
バドミントン 10/2(日) 南長野運動公園 総合体育館	男子の部	優勝	情報労連諏訪地区協議会 諏訪地区
	準優勝	多摩川精機労働組合 飯伊地区	
	三位	新光電気労働組合 長野地区	
	三位	山洋電気労働組合 上田支部 上小地区	
テニス 10/29(土) 東和田運動公園 テニスコート	男子の部	優勝	松本市職員労働組合 中信地区
	準優勝	新光電気労働組合 長野地区	
	三位	セイコーエプソン労働組合 じみ支部 諏訪地区	
	三位	日置電機労働組合 上小地区	

参加者から大好評 長野地区労福協で多彩な取組

■年金セミナー

去る9月17日(土)に勤労者女性会館しなのきにて長野地区労働者福祉協議会主催の年金セミナーが開催されました。

ご夫婦連れで来館された方も含めて37名の参加者は昨年の同セミナー参加者と同数でありました。第二土曜日の専門家による「くらし何でも相談・ほっとダイヤル」でお馴染みの山口正人特定社会保険労務士の講演は分かり



野球大会 開会式の様子

※バドミントン「NTT労働組合諏訪分会」より、登録チーム名を「情報労連諏訪地区協議会」にするよう変更依頼がありました。
※実施要綱8項(2)により県大会出場申込チーム数が4チームに満たない「テニス女子」「バレーボール女子」「バドミントン女子」の県大会は中止となりました。

■生涯生活サポート研修会

10月20日(木)

にサンパルテ山王にて「考えてみませんか、あなたのライフプランを!」というテーマで、お金に関する生涯設計や東日



講演する労金の塚平俊和氏

やすいとの定評がありますが、今回のアンケートでも参加者の72%の方から「満足した」、92%の方から「今後の参考になる」との回答をいただきました。

■84名が参加

高校生のための金融教育セミナー

本大震災から考える住まいの保障について、ろうきん塚平俊和氏、全労済塚田秀樹氏を講師に40名の参加者を得て行われました。間に連合長野の戸井田学久氏から東日本大震災ボランティア体験談が語られ、参加者からは「被害のすごさが伝わった」との感想も寄せられました。



講師の話に聞き入る高校生の様子

ろうきん更 地区労福協との共催で、10月28日(金)高校生のための金融教育セミナーを行いました。坂城高校の3年生を対象に政治・経済の授業の一環として50分単位で二部に分けて実施されました。ろうきんの高橋利信支店長からろうきんの紹介を含めた挨拶を皮切りに、DVD視聴を交えて、ろうきん高井貴浩次長代理によるクレジットカードの上手な使い方と怖さ、悪質商法や詐欺に遭わない対処法など高校生に分かりやすい言葉を使った講演でした。事後のアンケートでも、ひとつ間違うとんでもないことになることが分かって良かった、などと好評でした。趣旨をご理解いただきこのような機会を作ってくださいといった関係の先生に感謝をしています。

上伊那 労福協まつり 地域を「イキイキ」させるお手伝い!!

2011年10月1日(土)伊那市さわやか広場において「2011上伊那労福協まつり」が開催されました。

労働者福祉運動そのものをより社会化していくことをコンセプトに18目を迎えた2011労福協まつりは、22団体の140名の皆さんにご支援・ご協力をいただき構成団体模擬店をはじめ、地域の方々や遠くは松本・木曾・下伊那から24出店のフリーマーケットなど、大変な盛り上がりを見せ構成団体と地域との良い関係を築く足がかりとなりました。

お天気も味方についてくれたのか、終日にわたって天候に恵まれ、共催した「ろうきん親子ふれあいまつり」とともに大変な賑わいとなり、趣向を凝らした様々なブースに2000名を超える多くのご来場者を迎えたイベントとなりました。

上伊那労福協は、構成団体とその地域の関係をより密接にすることで、地域に根ざした労働者福祉運動を促進できるような取り組みをしています。今後もこのような交流機会を福祉運動浸透に向けた起爆剤と位置付け、地域に元気をあたえられるよう、日常の活動を越えた幅広い活動で、地域をイキイキとさせるお手伝いをすべく地道に歩みを進めていきます。

今回の取り組みへの協力に心から感謝申し上げます。今後にも、今後も労働者福祉協議会に対する皆さんのご支援ご協力をお願いいたします。



会場の様子

生活困難者を社会から孤立させないPS事業の強化！

知事へ直接要請

11月2日知事交渉が行われました。まず近藤理事長の挨拶のあと、阿部知事は、「県労福協には、パーソナルサポート(PS)事業をはじめ、県下各地における労働者や県民への相談事業の取組みに深く感謝する」と述べられました。続いて、青木専務理事より具体的要請項目である「現在行われている『パーソナルサポート事業』の(寄り添い型の就労・自立支援)を社会的包摂システムの位置づけから生活困難者を社会から孤立させない為のPS事業の制度化に向けて積極的に取り組んで頂きたい」と要望、知事は「PS事業を発展させるために支援の

ネットワークが重要」と述べ、労福協としては、できるだけ身近な所で相談できる体制づくりとして、当初は県下4地区に拠点を求めていたことから、未設置である南信地区の拠点づくりへの支援を要請しました。(2011年度県政要請の知事交渉と9日開催の部局折衝の詳細は、次回の機関紙に掲載予定)



知事と意見交換する労福協役員

大北地区労福協からのお知らせ
原発事故 相次いだ宿泊キャンセル
白馬ケーブル労組・
八方尾根開発労組支援

労福協傘下会員サービス・
前売りパック券を販売実施します

近年、スキー場関連に働く労働者の環境は、少子高齢化・スキー人口の減少などにより、厳しい環境下で働いています。

とりわけ大北管内でも、すでに白馬村では白馬ハイランドスキー場が、大町市でも大町スキー場が閉鎖され、青木湖スキー場も再開の目途は立っていません。

加えて、東京電力福島第1原発の放射能漏れ事故を機に外国人観光客の宿泊キャンセルが相次ぎ、スキーシーズン入りを前に「痛手

はこの冬から」と影響の長期化を懸念しています。

この様な状況下で労福協は、大北管内に働く仲間として白馬ケーブル労組と八方尾根開発労組の支援活動と、労福協傘下会員への還元(サービス)活動として、格安前売りパック券販売を左記のとおり実施します。

日時 2011年12月9日(金)・16日(金)
夕方5時から7時まで。

場所 大町市労働会館内 大北地区

労働者福祉協議会 22-6209

梅池 通常

大人4,400円↓3,500円

(900円ランチ付き)

岩岳 通常

大人4,800円↓3,300円

(900円ランチ・温泉割引券付き)

子供3,100円↓2,200円

(900円ランチ・温泉割引券付き)

八方 通常

大人4,600円↓3,500円

(リフト1日券のみ)

※子供料金は各スキー場毎日イベント時に無料日がありますので、来館の際に直接担当者にお尋ね下さい。

申込 直接現金と引き換え

期間以外は販売いたしませんので御注意願います。

家族と、職場の仲間と、シニア仲間と、思いつき白馬を楽しみましょう！

去る10月21日、労福協第2回幹事会で、本年度の「労金・全労済スキー&スノーボード交流」を実施するか否かを協議した結果、若者のスノースポーツをとおして労働金庫、全労済を知ってもらう活動として必要との判断から、来春2月に実施することを確認しました。

尚、予算は1泊2食リフト券(900円のランチ付)で10,000円を予定しています。

宿泊場所・料金など確定次第、労福協ニュースで告知していきます。

2012国際協同組合年(IYC)の取り組み

2012年の国際協同組合年(IYC)に向けて、県労福協、長野ろうきん、県生協連などが参加する長野県実行委員会では取り組みの具体化を進めています。既に専用サイトを開設し、学習資料を作成しました。2012年1月30日(月)にオープニングイベントとしてセミナーを開催し、7月の国際協同組合デーを目処に記念イベントを予定しています。また、協同組合間連携による社会貢献活動を検討します。

お知らせ

第41回長野県消費者大会が開催されます。県労福協、連合長野、県労連、県労組会議、県生協連などが構成する長野県消費者団体連絡協議会では、11月29日(月)に第41回長野県消費者大会を開催します。

日時 11月29日(月) 10:30~15:30
場所 長野市・メトロポリタン長野 3階(浅間)
内容 午前・団体活動報告、午後・記念講演「放射能問題と食の安全」
講師 野口邦和氏(日本大学歯学部講師)、意見交換

参加費 500円
お申込 11月25日(金)までに県労福協に

県労福協今後の日程

2011年

11月9日(水)14:00 県政要求(部局折衝) 県庁
11月17日(水)10:30 労金・全労済合同新任運営委員研修 メルパルク長野

2012年

1月5日(木)14:00 新春交歓会・講演会 ホテル国際21
新春交歓会前段に講演会を予定しています。
講演:「日本の政治は良くなるか~民主党政権の行方」
講師:田崎史郎 氏
1月26日(水)13:30 構成団体合同研修会 上山田ホテル
3月6日(水)13:00 自然災害シンポジウム まつもと市民芸術館

**税務相談の体制強化
について意見交換
税理士会との定例協議会開催**



あいさつする関東信越税理士会の西川禎人会長

たいとの要請を行ないました。西川会長からは、各支部ごとに税理士を幹旋できるようにしたいとの回答がありました。

税務相談の利用促進について意見交換をした結果、チラシを見てもどのような手続きで税務相談を受けられるのか分かりにくいとの指摘がされ、今後は税務相談・税務セミナーについて、表現の仕方を工夫したりPRの機会を増やしていくことが確認されました。



税務相談体制充実について要請する青木専務理事

9月1日(木)松本市のホテル「ブエナビスタ」にて関東信越税理士会長野原支部連合会との協議会が開催され活発な意見交換がされました。会議の冒頭、事務局より2010年度における、初回無料の税務相談の結果及び県労福協の事業内容について報告を行った後、県内各地区における税務相談体制について引き続きご協力をいただき



暮らしサポートセンターの事業内容と講師の紹介をする若月事務局長

休憩後の質疑では5人の方から質問が出されました。閉会の後も皆さんiPadについて興味津々で、手に取って操作を繰り返していました。

本セミナーは参加者数がほぼ目標通りであったこと、講義の内容が時代の最先端の内容であったことから大好評でした。

事務局の話では、暮らしサポートが行っている新聞折り込みチラシに本セミナーの案内を掲載したところ、反響が大きく18名の申込みがあったとのことでした。

佐久地区暮らしサポートセンターは、2011年9月17日(土)佐久勤労者福祉センターで「知って得するインターネットの使い方」と題したセミナーを開催し、42名の方が来場されました。

セミナー開催にあたり、佐久地区暮らしサポートセンター若月事務局長より、暮らしサポートセンターと佐久地区労福協の紹介が行われました。続いて佐久地区暮らしサポートセンターの池田会長より主催者を代

「知って得するインターネットの使い方」セミナー開催

**「良い機会を作っていたいただき
ありがとう」との感謝の声**

表しての挨拶がされました。

今年度は県下13地区の暮らしサポートセンターで連鎖的に「インターネットセミナー」の開催が予定されていますが、佐久地区の開催が県下第一号となることから大変注目されてきましたが当初目標とした40名を超える方が集まりました。

参加者の特徴としては、中高年女性の参加者が目立ちました。参加者は講師の話聞き逃すまいと筆記用具を片手に熱心に耳を傾けていました。講師の話は当初の予定は3時間でしたが休憩をはさみ3時間20分となりました。

“知って得するインターネットの使い方”セミナー、今後の開催予定表

開催日時	定員	会場 住所(電話番号)	主催 受付電話番号(受付時間帯)
11月14日(月) 18時~19時30分	50名	上田高砂殿 上田市天神2-2-2(0268-23-1133)	上小地区暮らしサポートセンター 0268-22-2218 又は、0268-35-1122(月~金:9時~17時)
11月22日(火) 18時~20時	30名	労金塩尻支店 塩尻市大門6番町3-13(0263-53-5588)	塩尻地区暮らしサポートセンター 0263-53-5588(月~金:9時~17時)
11月25日(金) 18時15分~20時15分	50名	大町市総合福祉センター 大町市大町1129(0261-22-1501)	大北地区暮らしサポートセンター 0261-22-6209(月~金:9時~17時)
12月20日(火) 18時~20時	50名	須崎市シルキーホール 須崎市大字須坂1295-1(026-215-2225)	須高地区暮らしサポートセンター 026-245-1419(月~金:9時~17時)
1月28日(土) 10時~12時	50名	労金伊那支店 伊那市山寺249-3(0265-72-7266)	上伊那地区暮らしサポートセンター 0265-73-6029(月~金:9時~17時)

※松本地区、安曇野地区、飯田地区、木曽地区は日程調整中

「ロンギンと創立60周年記念キャンペーン」実施中

おかげさまで、長野ろうきんはこの冬60周年を迎えます。日ごろの感謝をこめて、2011年11月1日から、2012年10月31日まで各種のキャンペーンをご用意いたしました。

キャンペーン以外にも、東日本大震災支援に向けた取組みの継続、創立60周年を契機としたピンクリボン運動への支援などを通じて、協同組織福祉金融機関としての社会的使命を実践していきます。

キャンペーン実施内容

① 特別金利定期預金

期間中に、対象となる定期預金を新規で6万円以上お預けいただと、1年定期0.2%、3年定期0.25%、5年定期0.3%の特別金利にて定期預金がおつくりいただけます。

② 懸賞付キャンペーン

期間中に、例えばエース預金・財形貯蓄のいずれかの年間お積立額が6万円以上となる新規または増額契約をいただいたお客様など、一定の条件を満たされた方を対象に、自動エントリー方式にて抽選を行います。

- A賞・自動掃除機ルンバ
- B賞・プラスマクマスター車載タイプ
- など

③ 資産運用応援キャンペーン

期間中、すべての投資信託商品の販売手数料を無料といたします。(投資信託)

定時定期預付サービスは対象外とします。また、対象となる投資信託・国債と定期預金を同時に新規でお申込みいただくと、定期預金に初回満期日まで特別金利をおつけいたします。

④ 天狗4兄弟 特別金利キャンペーン

期間中、《変動金利1.70%》《固定金利1.90%》の特別金利を設定いたします。さらに取引内容等により、最大0.2%の金利優遇あり。(右記金利の他に、別途保証料が必要。店頭に説明書をご用意しております。)

※各キャンペーンの実施期間・詳細についてはろうきんへお問い合わせください。

東日本大震災支援に向けた取組み

期間中に個人のお客様からお預かりした対象預金商品における新規および入金取引の合計額の0.02%相当額を長野ろうきんが拠出して、支援の輪をあしなが育英会「東日本大震災 津波遺児募金」に届けます。

ピンクリボン運動への支援

長野ろうきんのカードを長野ろうきんATM、セブン銀行でご利用いただくと、1取引につき1円を長野ろうきんが負担し、公益財団法人日本対がん協会「乳がんをなくす ほほえみ基金」に寄付いたします。

「長野ろうきんホームページ」でも創立60周年記念キャンペーンの詳細が確認いただけます。
(<http://www.nagano-rokin.co.jp/>)

全労済「2011年全労済セミナー」開催される

基調講演 高橋均中央労福協事務局長

全労済セミナーが10月5日、松本市「ホテル ブエナビスタ」において、地区運営委員、経営委員、産別推進委員、地区労福協の

方々109名の参加で開催されました。研修内容は基調講演として「労働者共済運動の意義や目的について」と題して、中央労福協事務局長の高橋均氏から次の講演がありました。

- ① 中央労福協の歴史と理念の中で全労済誕生のいきさつ、「福祉はひとつ」が労協の理念であること。
- ② 労働運動・労働者福祉運動をめぐる時代認識の中で、高度成長期までの運動、その後の市場経済の暴走と崩壊で職場・地域社会の変化により、絆の崩壊、貧困社会の現出。
- ③ 労働運動・労働者福祉運動の二つ目の課題として、労組の組織率と労働条件の変化、非正規労働者の組織化と均等処遇。
- 二つ目の課題として、中小・地域企業労働者の基盤は「生活地域」であり、連合地域協議会は「よろず相談承り所」としての役割が重視され、労福協のライフサポート事業、国の「パーソナルサポートサービス事業」との連携の必要性。
- 三つ目の課題として、労働運動・協同組合(労働福祉団体)運動の関係再構築において、賀川豊彦の「協同組合中心思想」の原点に学ぶ。
- ④ 労福協に求められる運動スタイルとして、「餅屋は餅屋に・ネットワーク」を重視し、「かすがい役」として役割を果たし、あらためて「福祉はひとつ」を認識していくことが話されました。



講演する高橋均事務局長

次に全労済から「生活保障設計運動の展開について」の活動提起をしました。

- 基本要請の3点の活動として、
- ① 住まいと暮らしの防災・保障点検活動
- ② 生命保障領域の組織的基礎保障の活動
- ③ 自動車保障領域の無共済車・掃活動を要請しました。

最後に「自賠責無補償状態の危険性について」と題して研修会を行いました。近年、自賠責共済(保険)に契約の無い車両事故が多発しており、警察署から契約の有無についての問合せが県内でも年間200件ほど有るとのことです。「交通事故を起したときの責任」・「自賠法のあらまし」「自賠責共済が対象となる事故」等、学習していただきました。

この研修を通じて、組合員の「助け合い」を基本とする労済運動の意義や役割を改めて協力団体に認識・理解いただくために、生活保障設計運動への協力をお願いします。

長野県住宅生協



組合員限定 (助成金)

最大30万円分

リフォーム

特典制度実施

長野県住宅生協は30周年を迎えることができました。感謝を込めて還元キャンペーンを開催しています。

2012年6月30日まで ※詳しい内容につきましてはご連絡下さい。

長野県労働者住宅生活協同組合 ☎ 026-234-0283
FAX 026-234-0271

くらし・なんでも相談

シリーズ No.35

「友達との金銭トラブル等」



佐藤 豊 弁護士

毎月第二土曜日に行っている、専門家が相談にのる、「くらし・なんでも相談 ほっとダイヤル」は大好評です。今号は、その中からお金に関する相談、中でも友達との金銭トラブルを中心に取り上げました。



「貸したお金を返して もらえないときの法的な手続」

【事例①】

友達に頼まれて30万円を貸しましたが、約束の期限になつて何度催促しても返してくれません。どうしたらいいでしょうか。

【回答】

催促しても全く返してくれない様子がない場合は、法的な手続を考える必要があります。

基本的な法的な手続は訴訟ですが、160万円以下の事件として簡易裁判所の管轄になり、書き込めばよい用紙が裁判所に備えられていますので、質問のよくな簡単な内容であれば自分で手続をすることもできます。

60万円以下の事件については、原則として1回の裁判ですませる少額訴訟という制度もあります。

話し合いで解決したい場合は、調停委員が入って仲介の労を取ってくれる民事調停が考えられます。また、裁判をせずに、いきなり貸したお金を支払うよう裁判所から命令を出してもらおうと支払督促という手続もありますが、相手から異議が出されると通常の訴訟になります。調停や支払督促も簡易裁判所に申立をするようになります。

裁判の結果お金の支払を命ずる判決が出されても、相手が支払ってくれない場合は強制執行の申立ができますが、相手に財産等がないときは貸したお金の回収できないこととなります。お金を貸すときには、よく考えて判断してください。

「裁判を考えているが、弁護士に依頼する費用がない」

【事例②】

私は、転職を繰り返して、少ない給料もパチンコ等に使ってしまったので生活費も満足に渡してくれない夫との離婚を考えています。専門家に依頼する経済的余裕もないため、調停は自分で申立をしましたが解決できず、訴訟による以外はないと言われました。弁護士に依頼する費用がない場合、何か方法はありませんか。

【回答】

裁判等の法的な手続をする上で、経済的な理由から弁護士等に依頼できない場合については法律扶助の制度があります。

資力の基準があり、例えば、3人家族の場合は手取り月収額（賞与を含む）が27万2000円以下であることが要件になります。質問の離婚事件の場合は夫の収入は加算されません。

資力の基準に合致しても、勝訴の見込みが全くない事件あるいは制度の趣旨に反するような事件については、この制度を利用することができません。

法律扶助は弁護士費用等の立替であり、分割で返済しなければなりません。生活状況により返済を猶予され又は免除されることもあります。

「お金を貸した相手が破産」

【事例③】

私は、友達に頼まれて50万円を貸しましたが、友達は他にも多額の借金があったようで自己破産の申立をしました。私としては、恩をあたで返されたように納得できず、訴訟をしても返してもらおうと考えていますが可能ですか。

【回答】

本来破産手続は、多くの債権者に対する処理を集団的に行うものなので、破産手続が開始されると、その手続で処理されるべき貸金について別に訴訟等を起こすことはできなくなります。先に訴訟を起こしていても、破産手続が開始されると訴訟手続は中断されます。

価値のある財産がほとんどなく費用倒れになることから、実際に開始後の手続が行われない事案もかなりありますが、配当（支払）が見込める場合は、破産手続において債権の届出をして配当を受けることとなります。

毎月第二土曜日は、弁護士・司法書士・特定社会保険労務士など専門家相談員による相談日です。

くらし・なんでも相談

ほっとダイヤル

0120-3916029



佐久地区労働者福祉協議会の
佐久地域における貢献活動

東日本大震災
によって被災地
は壊滅的な被害
を受け、目を覆
うような未曾有
の大惨事となり
ました。しかし
被災者から
「確かに失っ
たものは大き過
ぎたが、得られるものも大きかった」
という話があります。それは人と人
との「絆」であり、仲間意識から生ま
れた周囲を思いやる節度ある姿勢で
した。



老人施設を巡回慰問する滝沢博文さん

佐久地区労福協ではこれらの教訓
を活かし、活動指針にある「地域に根
差した福祉活動」をさらに発展させ、
地域内での「絆」を深める意味で行政
との連携を図り、2011年度活動方
針として「福祉施設等への訪問活動」
を実施することとしました。

訪問の内容は、上田市の腹話術師
「ヒロ・タッキー」(本名 滝沢博文
さん)による巡回慰問を行うことと
し、9月3日(土)の小諸市老人保
健施設「こまくさ」を皮切りに既に6
施設を訪問しました。当面の計画と
しては年末までに佐久市の福祉施設
を訪問する予定です。

将来的には、今後3年かけて地域
のすべての福祉施設等を訪問する予
定です。

8のまちがいさがし

左に並んだ二枚の絵を見比べて違
ついている箇所を8つ探して下さい。
日頃使わない脳への刺激になるか
と思います。



(画：ろうきん 西澤 修氏)



プレゼントの応募方法が便利になりました!!2011年11月からFAXとホームページからも応募ができます。

プレゼントの応募方法

- ★その1 長野県 労福協のホームページ下のバナーから応募ください。
- ★その2 FAX番号 026 (23)26672
- ★その3 官製はがき (宛先は表紙にありますが)

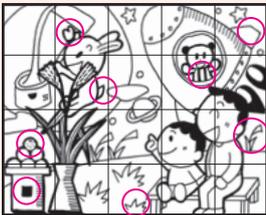
機関紙「労福協」
まちがいさがし

ご応募は
こちらから

<http://www.lsc-nagano.or.jp/>

●クイズの答え(8つ)
●労福協の機関紙に対する意見・要望を何か一言。
●住所・氏名・年齢・性別・所属団体(単組名)又は勤務先。
●正解者の中から抽選で5名の方に図書カード(1,000円分)をプレゼント。
●締切り11月30日

前回の正解は



- 当選者の名(敬称略)
- 一志 誠 (天門市)
 - 斎藤 美希 (長野市)
 - 小池真由美 (長野市)
 - 仲條 葉子 (長野市)
 - 本藤みのり (長野市)

山なみ

東日本や栄村そしてトルコの大震災、タイの洪水:全米で起きた「1%の富が権力を握り、我々が99%だ!」との抗議デモが世界に広がり、欧州での暴動に発展しています。日本国民は一日も早い被災地の復興を願う「増税もやむなし」と思っていたら、政府は年金の支給開始を70歳近くまで引き上げる案を出し、更に消費税アップの負担はギリギリの生活に、将来に展望が開けず我慢も限界にきています。

いま、県労福協が取り組んでいる「寄り添い方のPS事業」から見えて来たのは、社会の四層構造であり、全国の労働者の①64%が正規労働者、②残り36%が派遣・パートなどの不安定な非正規労働者。その内、年収200万円以下の労働者層が23%、③失業率・ホームレス、震災の被災者、④自殺者(年間3万人以上)からなる四層なのです。

また、地域社会から孤立し自殺未遂の人が推定30万人以上。背景には「不安定な仕事」↓「病氣・離職・失業」↓「住居の不安定・多重債務・喪失」↓「社会的孤立」などの様々な社会的リスクから起きております。私たちはこれらの現実を見たとき、同じ働く仲間としての行動が求められています。それは、出来ない理由を考えるより、出来る事をひとつづつ行動することで。それは、労福協の設立の原点「福祉はひとつ」全ての働く仲間が助け合い・支え合いの運動ではないでしようか:(青)



栄村の仮設住宅に咲く秋明菊と千鳥草